

沖縄総合事務局総務部入札監視委員会(平成25度1回)議事概要

開催日時及び場所	平成25年6月19日(水)15時～17時 沖縄総合事務局 6階 特別会議室	
出席委員	<ul style="list-style-type: none"> ・当山尚幸(委員長:弁護士) ・大城 常夫(琉球大学名誉教授) ・酒井一人(琉球大学農学部教授) ・崎山律子(フリージャーナリスト) ・宮城千春(公認会計士) 	
審議対象期間	平成25年1月1日 ～ 平成25年3月31日	
項目	抽出案件	備考
総件数	4 件	
工事	1	
① 一般競争入札方式(政府調達)	0	
② 一般競争入札方式	1	
③ 工事希望型競争入札方式	0	
④ 指名競争入札	0	
⑤ 随意契約	0	
建設コンサルタント業務等	1	
① 一般競争入札方式	1	
② 公募型競争入札方式	0	
③ 簡易公募型競争入札方式	0	
④ 指名競争入札	0	
⑤ 公募型プロポーザル方式	0	
⑥ 簡易公募型プロポーザル方式	0	
⑦ 標準プロポーザル方式	0	
⑧ 参加者の有無を確認する公募手続きを行った契約	0	
⑨ 随意契約	0	
役務の提供等及び物品の製造等	2	
① 一般競争入札方式	2	
② 指名競争入札	0	
③ 企画競争方式	0	
④ 参加者の有無を確認する公募手続きを行った契約	0	
⑤ 随意契約	0	
議事	<p>1, 指名停止等の運用状況について</p> <p>2, 平成25年1月～3月における公共工事等の発注状況について</p> <p>3, 抽出事案の審議について</p>	

委員の意見・質問等	回答
<p>1. 工事</p> <p>○ 平成24年度 宮古伊良部農業水利事業伊良部導水路大橋工区(取付橋梁部)工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札方式 : 一般競争入札方式 ・ 業種区分 : 農林土木工事、農林建築工事 ・ 競争参加資格 : 4 を確認した者の数 ・ 入札者数 : 3 ・ 契約締結日 : 平成25年3月11日 ・ 契約の相手方 : (株)古波蔵組 ・ 契約金額 : 115,500千円 ・ 落札率 : 94% <ul style="list-style-type: none"> ・ 技術提案評価委員会はどのようなメンバーか。 ・ 施工体制評価点が最も高い業者が辞退しているが、その理由は。 ・ 技術提案の「テーマ2」で、「0」点という業者が落札しているが、工事施工上問題はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員長が土地改良課長で、委員としては、土地改良課内の技術審査官、水利整備係長、土地改良総合事務所次長、建設技術課長及び事業所の担当課長がメンバーとなっている。 ・ 当方の工事に配置される予定の監理技術者が、現在従事している他の工事の工期延長に伴い、それが当方の工期と重なったため、当方の工事に専従ができなくなり、辞退したものである。 ・ 1テーマに1提案とし、複数提案したと見なした場合は評価しないことを公募時に周知しているが、当該業者は、1テーマに2提案以上であると見なされたため、「0」点となっている。しかしながら、提案内容が不適切なものではなく、総合的な評価により、落札者となったものであり、工事施工上、特に問題はない。
委員の意見・質問等	回答
<p>2. 建設コンサルタント業務等</p> <p>○ 平成24年度沖縄振興推進調査「沖縄における国際物流戦略に関する検討業務」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札方式 : 一般競争入札方式 ・ 業種区分 : 土木関係建設コンサルタント ・ 競争参加資格 : 1 を確認した者の数 ・ 入札者数 : 1 ・ 契約締結日 : 平成25年1月10日 ・ 契約の相手方 : (株)地域開発研究所 ・ 契約金額 : 7,298千円 ・ 落札率 : 98% <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合評価方式による入札で、提案書の提出が1者しかなかったというのは余りないが、その理由は。 ・ 以前から、1者応札については問題にしているが、1者応札の多くが年末、年度末の入札実施となっている。このような状況については改善の余地があると思われるので改善されたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料受取業者は5者いたが、落札業者以外の業者4者にヒアリングをしたら、技術者が他の業務に従事していて、今回の業務に配置ができなかったり、業務内容が得意とする分野ではなかったなどの理由により、参加業者が結果的に1者となったものである。 ・ 今後、業務の品質を上げる意味でもできるだけ競争をしていきたいので、業者が手が挙げやすい業務の前倒し発注を行うなど競争性を確保するための取組みを進めていきたいと考えている。

委員の意見・質問等	回答
<p>3. 役務の提供及び物品の製造等</p> <p>○ 沖縄総合事務局総務部資格審査システム改修業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札方式 : 一般競争入札方式 ・ 業種区分 : 役務の提供 ・ 競争参加資格 : 1 を確認した者の数 ・ 入札者数 : 1 ・ 契約締結日 : 平成25年1月11日 ・ 契約の相手方 : (株)パスコ沖縄支店 ・ 契約金額 : 10,848千円 ・ 落札率 : 93% <p>・ 1者応札となっているが、その状況を説明されたい。</p> <p>・ システム構築などに関わった業者が応札しなかった理由は。</p> <p>・ (意見) システム関係については、毎回1者応札になっていて(特に改修関係)、競争性が確保されていない状況にある。改善の方策を検討されたい。</p>	<p>・ 入札公告期間中に5者が資料を受け取っていて、複数の入札参加者を見込んでいたが、他の業務との関係、人員配置の関係などにより、結果的に1者応札となった。今回は、新規の業者が落札している。</p> <p>・ 今回の業務履行期間の関係で、人員の確保等スタッフの対応が難しいため、辞退したとのことである。</p>
<p>委員の意見・質問等</p> <p>3. 役務の提供及び物品の製造等</p> <p>○ 空調用熱源装置冷凍機(RS-2)冷凍機分解点検整備、プレート熱交換器整備、アンモニアガスセンサー交換作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札方式 : 一般競争入札方式 ・ 業種区分 : 役務の提供 ・ 競争参加資格 : 1 を確認した者の数 ・ 入札者数 : 1 ・ 契約締結日 : 平成25年2月26日 ・ 契約の相手方 : 九州三建設サービス(株) ・ 契約金額 : 3,014千円 ・ 落札率 : 85% <p>・ 冷凍機関係の作業については、それほど特殊なものではないと思われ、数者が応札しそうだが、なぜ、1者応札になったのか。</p> <p>・ 作業する時期が決まっているなら、業者が早めに準備し対応できるよう、公告を前倒しに実施するなどして1者応札を避けてもらいたい。</p>	<p>回答</p> <p>・ 冷房機の稼働期間等の関係により、オーバーホールの実施時期が2月末から3月までとなったために、同期間については他の業者が対応が難しいということで、1者応札となった。</p> <p>・ 今後は、計画的な作業スケジュールを定め、早めに発注ができるようにしたい。</p>

沖縄総合事務局総務部入札監視委員会(平成25度2回)議事概要

開催日時及び場所	平成25年9月11日(水)15時～17時 沖縄総合事務局 6階 特別会議室	
出席委員	<ul style="list-style-type: none"> ・当山尚幸(委員長:弁護士) ・大城 常夫(琉球大学名誉教授) ・酒井一人(琉球大学農学部教授) ・崎山律子(フリージャーナリスト) ・宮城千春(公認会計士) 	
審議対象期間	平成25年4月1日 ～ 平成25年6月30日	
項目	抽出案件	備考
総件数	116 件	
工事	10	
① 一般競争入札方式(政府調達)	0	
② 一般競争入札方式	10	
③ 工事希望型競争入札方式	0	
④ 指名競争入札	0	
⑤ 随意契約	0	
建設コンサルタント業務等	24	
① 一般競争入札方式	0	
② 公募型競争入札方式	0	
③ 簡易公募型競争入札方式	2	
④ 指名競争入札	13	
⑤ 公募型プロポーザル方式	0	
⑥ 簡易公募型プロポーザル方式	7	
⑦ 標準プロポーザル方式	0	
⑧ 参加者の有無を確認する公募手続きを行った契約	0	
⑨ 随意契約	2	
役務の提供等及び物品の製造等	82	
① 一般競争入札方式	59	
② 指名競争入札	0	
③ 企画競争方式	7	
④ 参加者の有無を確認する公募手続きを行った契約	0	
⑤ 随意契約	16	
議事	<p>1, 指名停止等の運用状況について</p> <p>2, 平成25年4月～6月における公共工事等の発注状況について</p> <p>3, 抽出事案の審議について</p>	

委員の意見・質問等	回答
<p>1. 工事</p> <p>○ 平成24年度伊江農業水利事業伊江地下ダム西最端部工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札方式 : 一般競争入札方式 ・ 業種区分 : 農林土木工事 ・ 競争参加資格 : 9 を確認した者の数 ・ 入札者数 : 9 ・ 契約締結日 : 平成25年5月14日 ・ 契約の相手方 : 前田建設工業(株)・(有)蔵下組JV ・ 契約金額 : 340,200千円 ・ 落札率 : 86% <ul style="list-style-type: none"> ・ 伊江の事業として区域別に実施している経緯があるが、過去の工事請負の中で同じ業者が順に繰返すということはないか。 ・ 入札金額が接近しており、ほとんど差のない入札となっていることはなぜか。 ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現場条件などにもよるが、予算との関係から、基本的には、単年度でできる範囲で工区設定を行い工事を実施している。なお、一般競争入札であるため同業者が順番で繰返して請負ようにするという事はない。 ・ 昨今では、積算資料による単価等を公表しており、それに基づいた積算による入札金額となるためである。なお、本工事は施工体制確認型の総合評価落札方式であり、最低価格をもって落札となるものではない。 ・
委員の意見・質問等	回答
<p>2. 建設コンサルタント業務等</p> <p>○ 平成25年度宮古伊良部農業水利事業仲原地下ダム右岸端部調査業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札方式 : 指名競争入札方式 ・ 業種区分 : 調査 ・ 競争参加資格 : 10 を確認した者の数 ・ 入札者数 : 9 ・ 契約締結日 : 平成25年6月18日 ・ 契約の相手方 : 中央開発(株) ・ 契約金額 : 13,178千円 ・ 落札率 : 84% <ul style="list-style-type: none"> ・ 指名業者選定時の評価における地域精通度はどのように設定しているか。 ・ 指名業者選定時の評価における手持ち業務の考え方について教えてください。 ・ 指名業者選定において10者にした理由は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成25・26年度競争参加有資格者名簿において、本・支店・営業所等の所在地(宮古島市内、県内、県外)を確認の上、評価している。 ・ 手持ち業務とは、当該業務を実施する宮古伊良部農業水利事業所内の別業務を現在実施しているかどうかであり、手持ち業務がない場合を、当該業務に専念できる体制であるとして高い評価としている。 ・ 予算決算及び会計令第97条第1項において「なるべく10人以上指名しなければならない」とあり、宮古伊良部農業水利事業所における指名基準により10者を選定している。

委員の意見・質問等	回答
<p>3. 役務の提供及び物品の製造等</p> <p>○ 平成25年度駐留軍用地跡地利用に関する市町村支援業務(アドバイザー派遣等業務)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札方式 : 一般競争入札方式 ・ 業種区分 : 役務の提供 ・ 競争参加資格 : 2 を確認した者の数 ・ 入札者数 : 2 ・ 契約締結日 : 平成25年5月15日 ・ 契約の相手方 : 玉野総合コンサルタント(株) ・ 契約金額 : 29,715千円 ・ 落札率 : 94% <p>・ 総合評価における価格点の配分が低すぎるのではないかと。</p> <p>・ (提案) 現在の総合評価算式(加算方式)では、本質的には価格点の配分割合が低くなる。価格点と技術点を足して総合評価するという意味を踏まえて、改善の方策を検討されたい。</p> <p>・ 跡地利用における先進地事例とは、県内のみか。</p>	<p>・ 当局における総合評価方式の規定上、価格点:技術点の割合を1:1から1:2の範囲内で設定できていることになっている。当該調達においては、業務を遂行するための知識、経験等が重要であるとの認識の下、価格点:技術点=1:2として設定している。</p> <p>・ 軍用地の跡地だけではなく、県外の区画整理事業の成功例も対象に情報共有している。</p>
委員の意見・質問等	回答
<p>3. 役務の提供及び物品の製造等</p> <p>○ 沖縄総合事務局行政情報ネットワークの構築一式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札方式 : 一般競争入札方式 ・ 業種区分 : 役務の提供 ・ 競争参加資格 : 1 を確認した者の数 ・ 入札者数 : 1 ・ 契約締結日 : 平成25年4月30日 ・ 契約の相手方 : 西日本電信電話(株)沖縄支社 ・ 契約金額 : 843,708千円 ・ 落札率 : 97% <p>・ 1者応募となっているが、その状況を説明されたい。</p> <p>・ ネットワークの融合により、システムダウン等のリスクは生じないのか。</p> <p>・ 予定価格の算出方法を説明されたい。</p>	<p>・ 仕様書の配布状況から複数者による入札を見込んでいたが、結果的に1者となった。後日、仕様書受領業者へヒアリングを実施したところ、当初は応募意志があったが、調達規模、業務期間、資金調達的面から最終的に辞退したとの回答を得た。</p> <p>・ ネットワークの融合により、むしろシステムダウン等のリスクが低減される最新技術を用いたシステム設計となっている。</p> <p>・ 市販の物価資料等の積算資料、複数業者の見積書、インターネット上での市場価格等を参考に、算出している。</p>

沖縄総合事務局総務部入札監視委員会(平成25度3回)議事概要

開催日時及び場所	平成25年12月17日(火)15時～17時 沖縄総合事務局 6階 特別会議室	
出席委員	<ul style="list-style-type: none"> ・当山尚幸(委員長:弁護士) ・大城 常夫(琉球大学名誉教授) ・酒井一人(琉球大学農学部教授) ・崎山律子(フリージャーナリスト) ・宮城千春(公認会計士) 	
審議対象期間	平成25年7月1日 ～ 平成25年9月30日	
項目	抽出案件	備考
総件数	49 件	
工事	4	
① 一般競争入札方式(政府調達)	1	
② 一般競争入札方式	3	
③ 工事希望型競争入札方式	0	
④ 指名競争入札	0	
⑤ 随意契約	0	
建設コンサルタント業務等	29	
① 一般競争入札方式	6	
② 公募型競争入札方式	0	
③ 簡易公募型競争入札方式	5	
④ 指名競争入札	11	
⑤ 公募型プロポーザル方式	0	
⑥ 簡易公募型プロポーザル方式	7	
⑦ 標準プロポーザル方式	0	
⑧ 参加者の有無を確認する公募手続きを行った契約	0	
⑨ 随意契約	0	
役務の提供等及び物品の製造等	16	
① 一般競争入札方式	7	
② 指名競争入札	0	
③ 企画競争方式	7	
④ 参加者の有無を確認する公募手続きを行った契約	0	
⑤ 随意契約	2	
議事	<p>1, 指名停止等の運用状況について</p> <p>2, 平成25年7月～9月における公共工事等の発注状況について</p> <p>3, 抽出事案の審議について</p>	

委員の意見・質問等	回答
<p>1. 工事</p> <p>○ 平成25年度伊江農業水利事業伊江地下ダム補償施設建設工事</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札方式 : 一般競争入札方式 (施工体制確認型総合評価落札方式) ・ 業種区分 : 農林建築工事・農林土木工事 ・ 競争参加資格 : 3 を確認した者の数 ・ 入札者数 : 3 ・ 契約締結日 : 平成25年9月30日 ・ 契約の相手方 : 西松・屋部JV ・ 契約金額 : 1,371,090千円 ・ 落札率 : 97% </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札参加者(JV3者)のうち、1者しか予定価格の範囲内に収まっていないが、積算方法に問題はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予定価格については建築工事が主で、国土交通省にて公表している公共建築工事標準単価積算基準を基に積算しており、適正な積算だと考える。 ・ 積算単価や積算方法は本省で決定し、地方局は運用しているというのが実態である。
<p>委員の意見・質問等</p> <p>2. 建設コンサルタント業務等</p> <p>○ 平成25年度石垣島地区石垣北部送水路調査設計(その1)業務</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札方式 : 簡易公募型競争入札方式 ・ 業種区分 : 土木関係建設コンサルタント ・ 競争参加資格 : 7 を確認した者の数 ・ 入札者数 : 6 ・ 契約締結日 : 平成25年8月7日 ・ 契約の相手方 : サンスイコンサルタント(株) ・ 契約金額 : 19,740千円 ・ 落札率 : 82% </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事と異なり、入札額が6者とも100万円以内の差に収まっているが、設計等コンサルタント業務は、調査基準価格により近い額で入札する傾向にあるのか。 	<p>回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設計等コンサルタント業務は、業務に必要な数量が予測しやすいため、調査基準価格が予測しやすいものと思われる。

委員の意見・質問等	回答
<p>3. 役務の提供及び物品の製造等</p> <p>○ 平成25年度外国人誘客推進事業(ビジットジャパン地方連携事業)東南アジア市場誘客事業</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札方式 : 企画競争方式 ・ 業種区分 : 役務の提供 ・ 競争参加資格 : 1 を確認した者の数 ・ 入札者数 : 1 ・ 契約締結日 : 平成25年8月9日 ・ 契約の相手方 : (株)日本旅行沖縄インバウンドMICE営業部 ・ 契約金額 : 3,550 ・ 落札率 : - </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 契約額を総合事務局と沖縄コンベンションビューローが折半しているが、当団体も選定に関わっているのか。また、当団体と連携する意義はなにか。 ・ 同じ2者が交互に落札しているイメージがある。他に業務を行える業者はいないのか。沖縄コンベンションビューローが受託者となることではないのか。 ・ 独創性の点数は参加者間で差はつくか。毎回同様の2者が入札に参加し、業務の対象も決まっているなかで、独創性に重点を置いてよいのではないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企画競争委員会において、沖縄コンベンションビューローも委員として参加し、審査に関与している。 ・ 地元観光の魅力のPRとなると、国の立場だけではなく地元のPRの観点も踏まえ、沖縄コンベンションビューローと連携した方がより効果的であると考えます。 ・ 沖縄県内でインバウンド等を行う部門を社内に持つ業者は少ない。以前は沖縄県と折半し、沖縄コンベンションビューローを受託者とする契約形態を取っていたが、公的な財団法人ということもあり、直接の受託者としては相応しくないとの考えから、連携先となっていた。 ・ 当方でも同様の意見があり、再公告の案件では過去の実績等の配点より、独創性のウエートを大きくし工夫のある業者に点数がつくようにした。
<p>委員の意見・質問等</p> <p>3. 役務の提供及び物品の製造等</p> <p>○ 平成25年度戦略的基盤高度化支援事業(発酵食品等の特異的風味成分の選択的分離精製システムの確立)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札方式 : 随意契約方式 ・ 業種区分 : 役務の提供 ・ 競争参加資格 : - を確認した者の数 ・ 入札者数 : - ・ 契約締結日 : 平成25年9月2日 ・ 契約の相手方 : 国立大学法人琉球大学 ・ 契約金額 : 22,738千円 ・ 落札率 : - </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経産本省で採択手続きを経て随意契約ということか。 ・ 公募区分の一般型や小規模型はどのような基準なのか。 ・ 琉球大学は事業主ではなく研究機関であるが、公募に参加することは可能なのか。 	<p>回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 提案案件については、各地方局に設置された外部有識者による審査委員会での審査及び書面評価を経て、本省に設置された全国審査委員会にて採点し、採択案件を決定する。その決定に基づき、地方局にて契約を行うため随意契約となる。 ・ 事業規模(契約上限額)に応じ、基準が定められている。小規模型に大企業が応募することはできないが、中小企業が一般型に参加することは可能である。 ・ 琉球大学が事業管理機関となり、共同体を構成する他の事業主と協働することで参加が可能となる。

沖縄総合事務局総務部入札監視委員会(平成25度4回)議事概要

開催日時及び場所	平成26年3月18日(火)15時～17時 沖縄総合事務局 6階 特別会議室	
出席委員	<ul style="list-style-type: none"> ・当山尚幸(委員長:弁護士) ・大城 常夫(琉球大学名誉教授) ・酒井一人(琉球大学農学部教授) ・崎山律子(フリージャーナリスト) 	
審議対象期間	平成25年10月1日 ～ 平成25年12月31日	
項目	抽出案件	備考
総件数	27 件	
工事	5	
① 一般競争入札方式(政府調達)	0	
② 一般競争入札方式	5	
③ 工事希望型競争入札方式	0	
④ 指名競争入札	0	
⑤ 随意契約	0	
建設コンサルタント業務等	12	
① 一般競争入札方式	3	
② 公募型競争入札方式	0	
③ 簡易公募型競争入札方式	5	
④ 指名競争入札	3	
⑤ 公募型プロポーザル方式	0	
⑥ 簡易公募型プロポーザル方式	1	
⑦ 標準プロポーザル方式	0	
⑧ 参加者の有無を確認する公募手続きを行った契約	0	
⑨ 随意契約	2	
役務の提供等及び物品の製造等	10	
① 一般競争入札方式	7	
② 指名競争入札	0	
③ 企画競争方式	3	
④ 参加者の有無を確認する公募手続きを行った契約	0	
⑤ 随意契約	0	
議事	<p>1, 指名停止等の運用状況について</p> <p>2, 平成25年4月～6月における公共工事等の発注状況について</p> <p>3, 抽出事案の審議について</p>	

委員の意見・質問等	回答
<p>1. 工事</p> <p>○ 平成25年度宮古伊良部農業水利事業仲原地下ダム(左岸端部他)ヤード造成工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札方式 : 一般競争入札方式 ・ 業種区分 : 農林土木工事 ・ 競争参加資格 : 4 を確認した者の数 ・ 入札者数 : 4 ・ 契約締結日 : 平成25年11月20日 ・ 契約の相手方 : 共和産業(株) ・ 契約金額 : 59,115千円 ・ 落札率 : 95% <ul style="list-style-type: none"> ・ 伊江の事業として区域別に実施している経緯があるが、過去の工事請負の中で同じ業者が順に繰返すということはないか。 ・ 入札金額が接近しており、ほとんど差のない入札となっていることはなぜか。 ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現場条件などにもよるが、予算との関係から、基本的には、単年度でできる範囲で工区設定を行い工事を実施している。なお、一般競争入札であるため同業者が順番で繰返して請負ようにするという事はない。 ・ 昨今では、積算資料による単価等を公表しており、それに基づいた積算による入札金額となるためである。なお、本工事は施工体制確認型の総合評価落札方式であり、最低価格をもって落札となるものではない。 ・
委員の意見・質問等	回答
<p>2. 建設コンサルタント業務等</p> <p>○ 平成25年度宮古伊良部農業水利事業仲原地下ダム右岸端部調査業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札方式 : 指名競争入札方式 ・ 業種区分 : 調査 ・ 競争参加資格 : 10 を確認した者の数 ・ 入札者数 : 9 ・ 契約締結日 : 平成25年6月18日 ・ 契約の相手方 : 中央開発(株) ・ 契約金額 : 13,178千円 ・ 落札率 : 84% <ul style="list-style-type: none"> ・ 指名業者選定時の評価における地域精通度はどのように設定しているか。 ・ 指名業者選定時の評価における手持ち業務の考え方について教えてください。 ・ 指名業者選定において10者にした理由は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成25・26年度競争参加有資格者名簿において、本・支店・営業所等の所在地(宮古島市内、県内、県外)を確認の上、評価している。 ・ 手持ち業務とは、当該業務を実施する宮古伊良部農業水利事業所内の別業務を現在実施しているかどうかであり、手持ち業務がない場合を、当該業務に専念できる体制であるとして高い評価としている。 ・ 予算決算及び会計令第97条第1項において「なるべく10人以上指名しなければならない」とあり、宮古伊良部農業水利事業所における指名基準により10者を選定している。

委員の意見・質問等	回答
<p>3. 役務の提供及び物品の製造等</p> <p>○ 平成25年度駐留軍用地跡地利用に関する市町村支援業務(アドバイザー派遣等業務)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札方式 : 一般競争入札方式 ・ 業種区分 : 役務の提供 ・ 競争参加資格 : 2 を確認した者の数 ・ 入札者数 : 2 ・ 契約締結日 : 平成25年5月15日 ・ 契約の相手方 : 玉野総合コンサルタント(株) ・ 契約金額 : 29,715千円 ・ 落札率 : 94% <p>・ 総合評価における価格点の配分が低すぎるのではないか。</p> <p>・ (提案) 現在の総合評価算式(加算方式)では、本質的には価格点の配分割合が低くなる。価格点と技術点を足して総合評価するという意味を踏まえて、改善の方策を検討されたい。</p> <p>・ 跡地利用における先進地事例とは、県内のみか。</p>	<p>・ 当局における総合評価方式の規定上、価格点:技術点の割合を1:1から1:2の範囲内で設定できることになっている。当該調達においては、業務を遂行するための知識、経験等が重要であるとの認識の下、価格点:技術点=1:2として設定している。</p> <p>・ 軍用地の跡地だけではなく、県外の区画整理事業の成功例も対象に情報共有している。</p>
<p>委員の意見・質問等</p> <p>3. 役務の提供及び物品の製造等</p> <p>○ 沖縄総合事務局行政情報ネットワークの構築一式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札方式 : 一般競争入札方式 ・ 業種区分 : 役務の提供 ・ 競争参加資格 : 1 を確認した者の数 ・ 入札者数 : 1 ・ 契約締結日 : 平成25年4月30日 ・ 契約の相手方 : 西日本電信電話(株)沖縄支社 ・ 契約金額 : 843,708千円 ・ 落札率 : 97% <p>・ 1者応札となっているが、その状況を説明されたい。</p> <p>・ ネットワークの融合により、システムダウン等のリスクは生じないのか。</p> <p>・ 予定価格の算出方法を説明されたい。</p>	<p>回答</p> <p>・ 仕様書の配布状況から複数者による入札を見込んでいたが、結果的に1者となった。後日、仕様書受領業者へヒアリングを実施したところ、当初は応札意志があったが、調達規模、業務期間、資金調達的面から最終的に辞退したとの回答を得た。</p> <p>・ ネットワークの融合により、むしろシステムダウン等のリスクが低減される最新技術を用いたシステム設計となっている。</p> <p>・ 市販の物価資料等の積算資料、複数業者の見積書、インターネット上での市場価格等を参考に、算出している。</p>